

発行日：2013年3月22日

////////////////////  
//  
// 『東日本大震災の教訓を未来に生かすプロジェクト』  
//  
//  
// 【Vol. 19】  
//  
////////////////////

— 《情報 Front-Line》 —  
ご紹介 web アーカイブサイト

3月11日は大震災発生から、2回目の鎮魂の日となりました。全国各所で被災者等を偲び、様々な催しが行われたことは報道機関を通じて既にご承知のことと思います。

復興元年が過ぎ、いよいよ実感できる復興へと向かう大事な年であり、正念場とも言えます。

土木学会では、東日本大震災に関するあらゆる記録・教訓を次の世代へ伝え、被災地の復旧・復興事業、今後の防災・減災対策に役立てるために、東日本大震災に関するデジタルデータを活用できるアーカイブサイトを開設していますので、改めてお知らせいたします。

各種資料・映像・写真などお手持ちの情報で公開可能なものをぜひお寄せ下さい。

↓  
<http://www.jsce.or.jp/library/page/report.shtml>

また、東北地方整備局でも3月18日にwebサイト「震災伝承館」を開設されました。

↓  
“震災伝承館” で検索!! (<http://infra-archive311.jp/>)

同じ悲劇を繰り返さないことを願い、この被災経験・教訓を活かすための記録として整備局及び被災した市町村などからご協力を頂いた約1万点の写真と映像等が掲載されています。

なお、このサイトの写真、映像等の各種資料は二次利用を想定しておりますので、自由に資料へ添付することも可能となっています。

お知り合いの方などにも、是非ご紹介ください。

☆—————☆  
—編集後記—From a secretariat—

☆—————☆  
政府は、18日、「南海トラフ」を震源とするマグニチュード9クラスの巨大地震が

発生した場合の経済被害想定を発表しました。強震動が陸地に近いところで起こるケース

では、津波による浸水と揺れによる建物などの倒壊が加わって被害額が最大 220 兆円に上ると試算しました。

予想される被害額の大きさは衝撃的ですが、想定を冷静に受け止め、ひるむことなく巨大地震への備えを着実に進めることが肝要ではないでしょうか。

次回も、お役に立つような情報をお届けします。

これからも、どうぞ宜しくお願いいたします。

=====

※本メールの配信・配信先変更・配信停止を希望の方は、お手数ですが返信メールにて

メルマガ事務局ご連絡ください。

※メルマガ事務局へのご意見につきましても、返信メールにてご連絡ください。

=====

(事務局・連絡先)

土木学会 土木広報アクションプラン小委員会 メルマガ事務局

E-mail : [infraken@jcca.or.jp](mailto:infraken@jcca.or.jp)

(アドレスは暫定です。土木学会の正式なアドレスが準備でき次第変更いたします。)

---

Copyright (C) 2012 『東日本大震災の教訓を未来に生かすプロジェクト』

土木学会 土木広報アクションプラン小委員会